

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	21110
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 経済学部	開講場所 (キャンパス・施設)	東千田キャンパス
2. 科目名	マクロ経済学入門		
	学問分野	番 号	名 称
3. 担当教員	山根 明子 社会科学研究科		
4. 開講学期	後期 週1コマ		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 29 年 10 月 2 日 (月) ~ 平成 30 年 2 月 5 日 (月) 18 時 00 分 ~ 19 時 30 分		
個別開講日	1 回目 10/2	2 回目 10/16	3 回目 10/23
	4 回目 10/30	5 回目 11/6	6 回目 11/13
	7 回目 11/20	8 回目 11/27	9 回目 12/4
	10 回目 12/11	11 回目 12/18	12 回目 12/25
	13 回目 1/15	14 回目 1/22	15 回目 1/29
	16 回目 2/5		
6. 募集定員	10 人 (総授業定員 150 人)		
7. 科目内容・ 授業計画	<p>マクロ経済学では、「国」単位での資源配分を考えます。一国の経済について、様々な経済変数がどのように決まり、それぞれがどう関連しているかを分析することによって、みんなが豊かになるためにはどうすればよいのかを考える学問です。この講義では、以下のような内容を数値例やグラフ、シンプルな経済モデルを用いて考えていきます。([ ]は講義回)</p> <p>まず、経済の活動水準の指標である GDP が何を示しているのか[2, 3]、重要な経済変数の一つである物価[4]がどのように求められるのかを学び、家計や企業の経済活動がマクロの経済指標とどう関わっているのかを理解します。次に、家計と企業の意思決定を考え、金融市場との関係を学びます[5, 6, 7]。さらに、貨幣と中央銀行の役割について考察し[8, 9, 10]、最後に、IS-LM モデルを使った分析を行い、財政政策や金融政策の役割について考察します[11, 12, 13, 14]。</p>		
8. 受講料	2,000 円		
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
10. 学習記録	交付する		○交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		
	単位数	単位	
	受入学年	高校 年生以上 (二次募集時 年生)	
	試験・評価		
	特記事項		
12. 開講条件※1 あり・○ない	① 最少開講人数 (        人) ② 不開講通知日 (7月14日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月15日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと なし		
14. 開設大学への 交通手段	<a href="http://www.enica.jp/">http://www.enica.jp/</a> →広島大学→交通アクセス→東千田キャンパス 広島大学経済学部 <a href="http://www.hiroshima-u.ac.jp/access/sendai">http://www.hiroshima-u.ac.jp/access/sendai</a>		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。